

写真は1976年(昭和51)に北玉小学校で実施された歯科検診の様子です。

戦後の沖縄は、焼け野が原からの復興が始まり、日々の生活に精一杯の状況で、個々人で歯の衛生に注意を向けることが難しい状況でした。1957年(昭和32)に琉球政府文教局に保健体育課が設置され、一部の学校に養護教諭が配置されましたが、本土に比べて学校保健は非常に遅れた状態が続きました。1960年代には琉球政府の体制も安定してきて、学校保健にも目が向けられるようになりました。

沖縄県では、1961年(昭和36)の6月4日から10日にかけて「歯の衛生週間」が開始され、無料の歯科検診及び衛生指導が実施されます。以後も新聞やテレビ・ラジオ、保健所等を通して毎年続けられ、歯の衛生思想の普及に大きな役割を果たしました。1963年(昭和38)の全琉球小学生の

う歯所有率は約95%と非常に高いものでしたが、1989年(平成元)には約74%まで減少しました。



公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。

